

**FPG**

Financial Products Group

*We're true professionals*

# 2014年9月期 連結決算説明資料 (2013年10月-2014年9月)

## 株式会社FPG

(code:7148)

東証1部



2014年10月

2014年9月期 業績の総括	P2
業績ハイライト	P3
2014年9月期 レビュー	P4
2014年9月期 トピックス	P5～P6
2014年9月期 営業概況	P7
2014年9月期 タックス・リース・アレンジメント事業の状況	P8～P10
2014年9月期 財務ハイライト	P11
2014年9月期 損益計算書	P12
2014年9月期 貸借対照表	P13
2014年9月期 配当予想	P14
2014年9月期 業績予想 中期的な経営戦略	P15～P18
事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み	P19
<ご参考> 主要な経営指標の推移	P20

# 2014年9月期 業績の総括



## ◆ 5期連続 増収増益、最高益の更新を達成

来年度からの法人実効税率の段階的引き下げについての政府方針実現期待を背景に、業績好調な投資家(顧客)からの需要が強く推移した結果、オペレーティング・リース(JOL)事業の出資金販売額は、37,899百万円(前期比47.9%増)と大きく伸張。その他、保険事業、不動産関連事業の売上拡大、連結子会社の証券、投資顧問の売上也寄与したことから、連結売上高は6,257百万円と前期比55.9%の増収を達成した。

業容拡大に伴う本社移転、人員増強等のコストが増加したが、売上高の増加が当該コストを吸収し、営業利益は3,461百万円(前期比66.1%増)、経常利益も3,263百万円(前期比66.4%増)と大幅な増益を達成した。

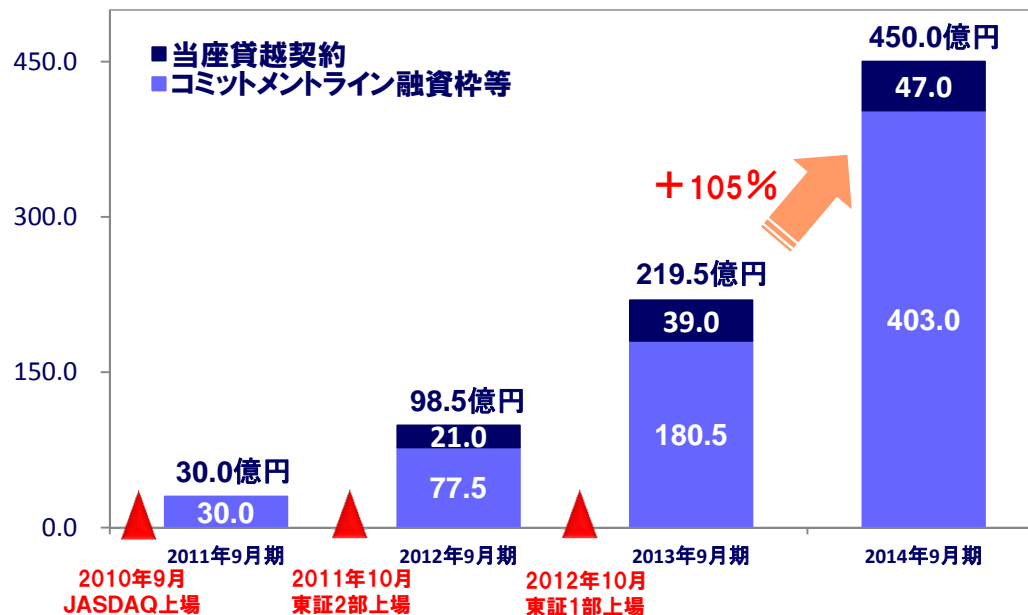
【百万円】	2013年9月期	2014年9月期	対前年同期増減	対前年同期増減率
	実績(連結)	実績(連結)		
売上高	4,012	6,257	2,244	55.9%
営業利益	2,084	3,461	1,376	66.1%
経常利益	1,961	3,263	1,302	66.4%
当期純利益	1,185	1,988	803	67.7%
リース事業組成金額	98,395	168,613	70,217	71.4%
出資金販売額	25,617	37,899	12,281	47.9%

# ■2014年9月期 レビュー

11月	◆ アメントム社(航空機のリースマネジメント会社)との資本業務提携 航空機リース事業の組成を強化
12月	◆ 海外IRの実施(開催場所:ロンドン) ◆ 業容拡大に備え、本社オフィス移転
3月	◆ 不動産小口運用商品「FRIPプラチナコート広尾」第1号販売開始 不動産特定共同事業出資 共有持分総額2,910百万円
4月	◆ 第一投資顧問(株)の全株式取得(子会社化) 収益構造の多角化に向けて投資顧問業への進出
5月	◆ アメントム社との日本型オペレーティング・リース第1号案件の組成・販売
6月	◆ 個人投資家向け会社説明会の実施(モーニングスター社主催 参加者288名) ◆ 新株式発行を実施
7月	◆ 子会社の第一投資顧問(株)を(株)FPG投資顧問に商号変更
8月	◆ 不動産小口運用商品「FRIP Qiz青山」第1号販売開始 不動産特定共同事業出資 共有持分総額1,400百万円
9月	◆ 個人投資家向け会社説明会の実施(大和証券主催 参加者70名) ◆ 資金調達枠(コミットメントライン契約等)が450億円へ拡大

# トピックス- 資金調達

## 資金調達枠は450億円（前期末比105%増）と飛躍的に拡大



上場前の資金調達枠は、15億円程度であったが、上場後は、金融機関からの信用力が格段に向上し、飛躍的に拡大。

## 新株式発行を実施、約44億円の資金調達により、更なる業績拡大へ

月日	新株式の発行	発行株式数 (株)	発行済株式総数 (株)	資金調達額 (百万円)	増加した資本金額 (百万円)	資本金残高 (百万円)
6月16日	公募	4,300,000	30,353,200	3,669	1,834	2,686
6月25日	第三者割当 (割当先:大和証券㈱)	900,000	31,253,200	767	383	3,070

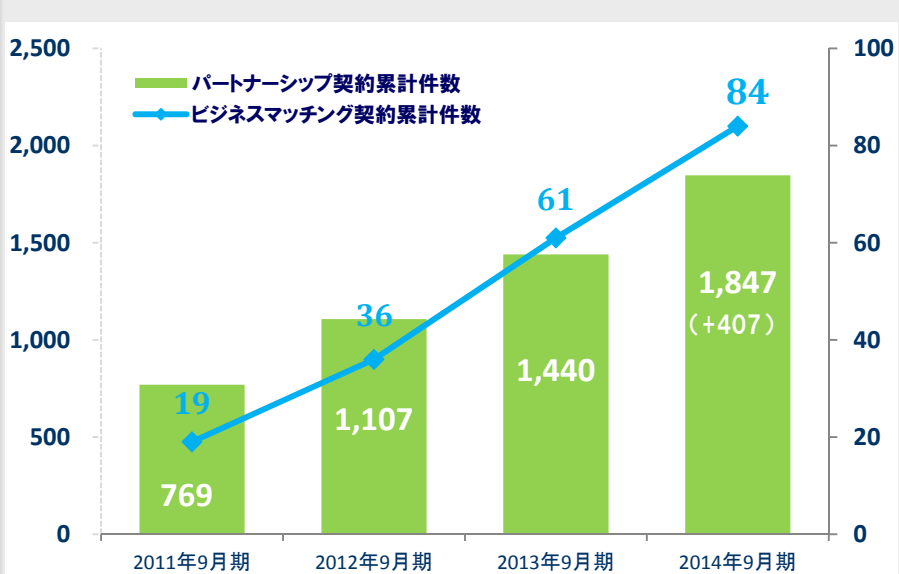
(注) 今回の増資による調達資金は、タックス・リース・アレンジメント事業における匿名組合契約に基づく権利の立替取得及び不動産関連事業における組成用不動産の取得を目的として調達した短期借入金の返済資金として充当。

# トピックス- 販売網の拡大

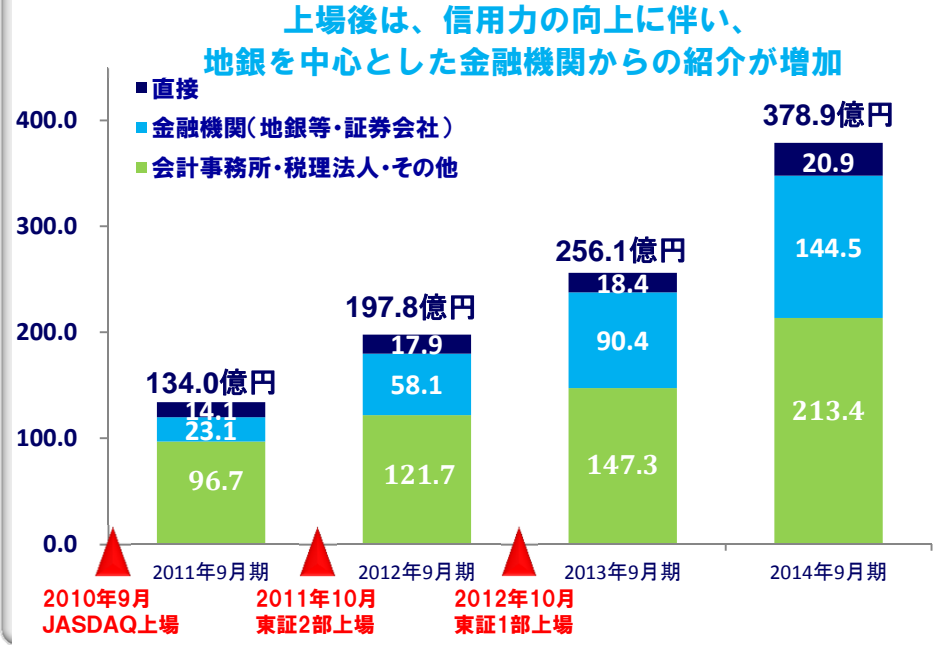
**全国の会計事務所、金融機関との提携拡大（前期比+430社）、販売力強化  
上場に伴い、特に地銀を中心とした金融機関からの大口投資家（顧客）の紹介が増加**



会計事務所とのパートナーシップ契約件数と金融機関とのビジネスマッチング契約件数（累計）



会計事務所ルートと金融機関ルートによる出資金販売額の推移



# 2014年9月期 營業概況



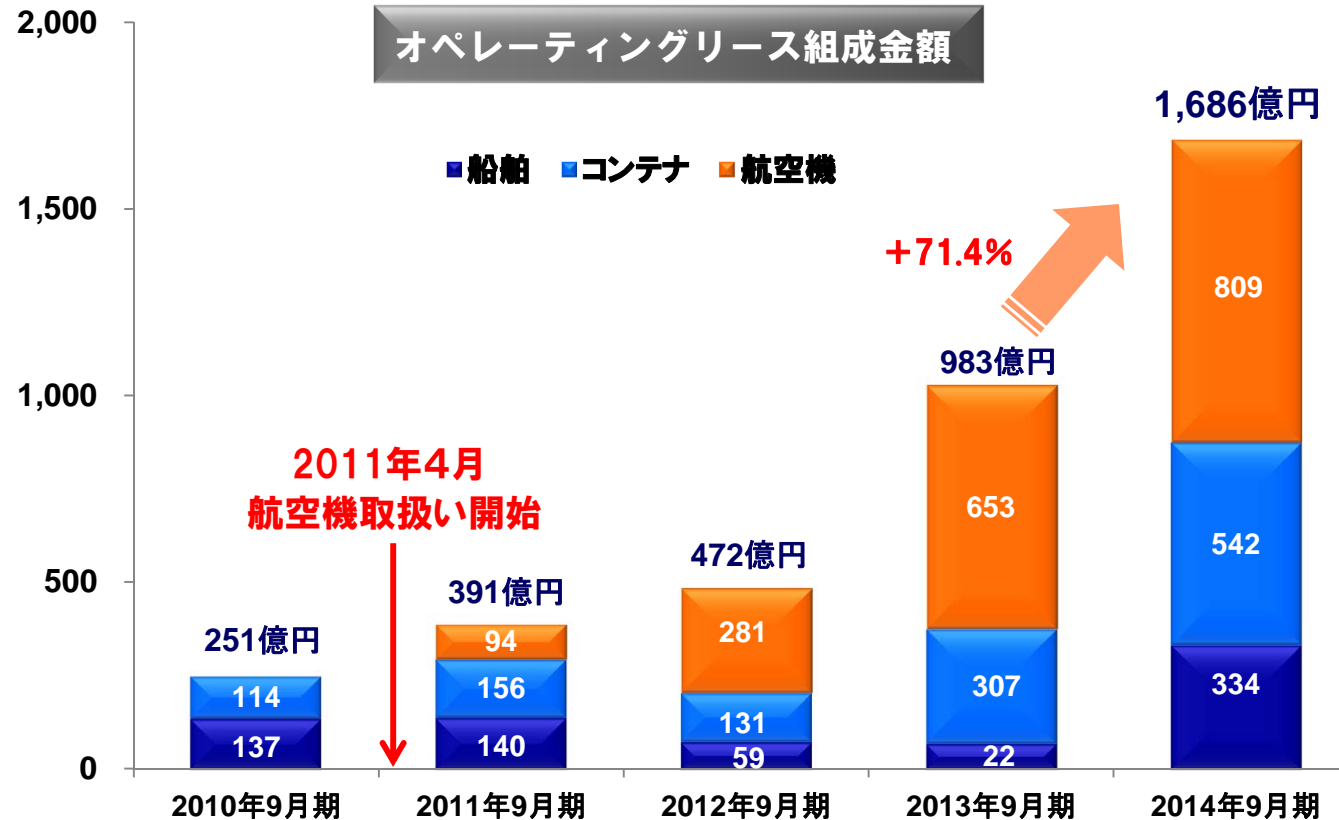


# ■ タックス・リース・アレンジメント事業－組成状況

## ◆ 航空機案件を中心とした積極的な組成により、組成金額は1,686億円へ

### 組成状況

当期においては、大手海運会社や欧州大手リース会社からの航空機案件のリピート案件の獲得に加え、昨年11月に資本業務提携を行った、アイルランドに本社を置く独立系の大手航空機リースマネジメント会社であるアメンタム社と欧州大手チャーター会社を賃借人とする航空機を対象とした日本型オペレーティングリース第1号案件の組成を行うなど積極的に行った結果、組成金額は、前年同期比71.4%増の1,686億円となった。



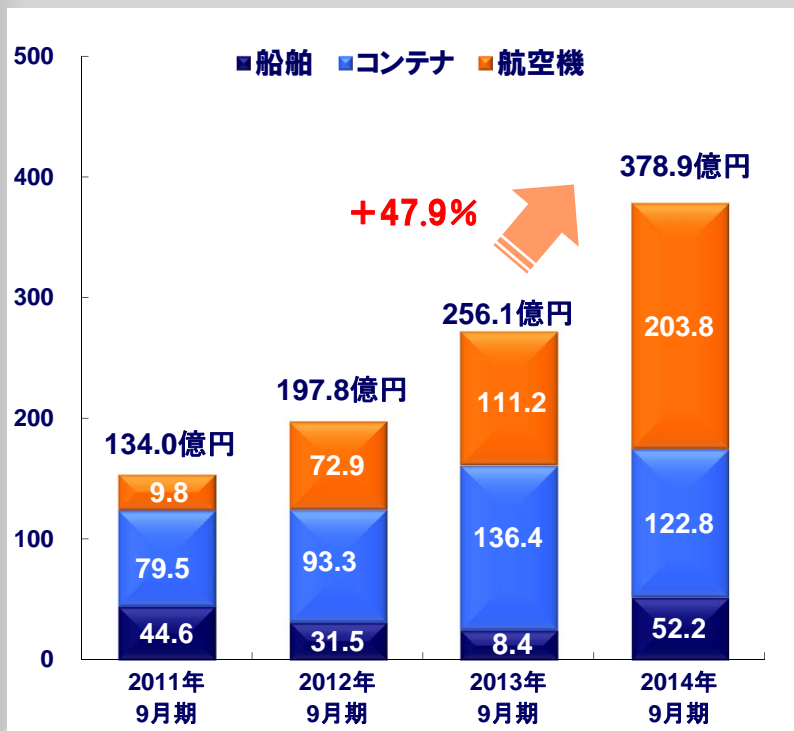
# ■ タックス・リース・アレンジメント事業－販売状況

## ◆ 好調な販売 出資金販売額は過去最高の378億円へ、前期比47.9%増

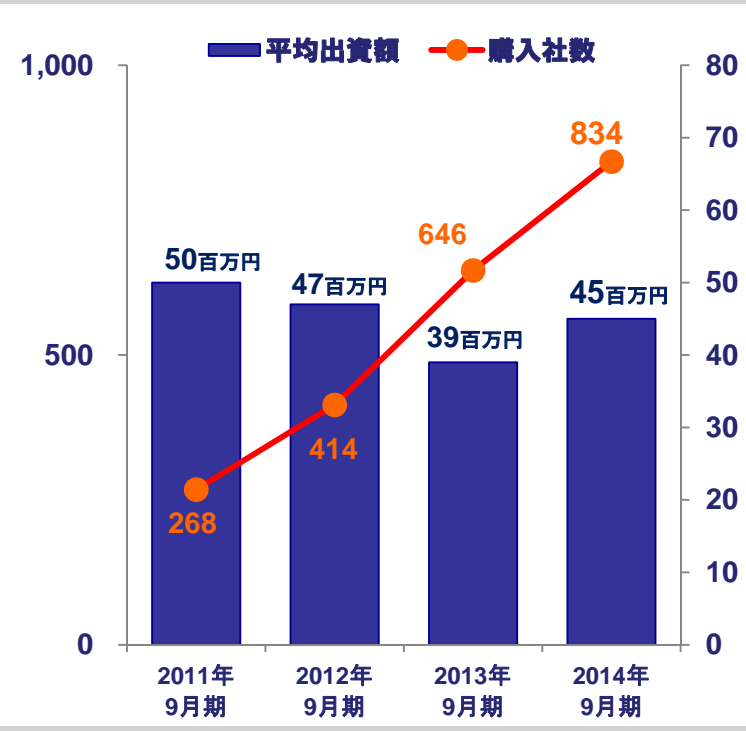
### 販売状況

信用力・知名度の向上により、会計事務所や金融機関（地銀等・証券会社）からの投資家（顧客）紹介が一段と進み、出資金販売は総じて好調に推移した。また、好調な企業収益、来年度からの法人税率の引き下げ期待などから、業績好調な投資家からの引き合いは非常に強く、一部大口出資や既存投資家からのリピートニーズとあいまって、購入社数は800社を超え、出資金販売額は、前期比47.9%増の378億円と過去最高を記録した。

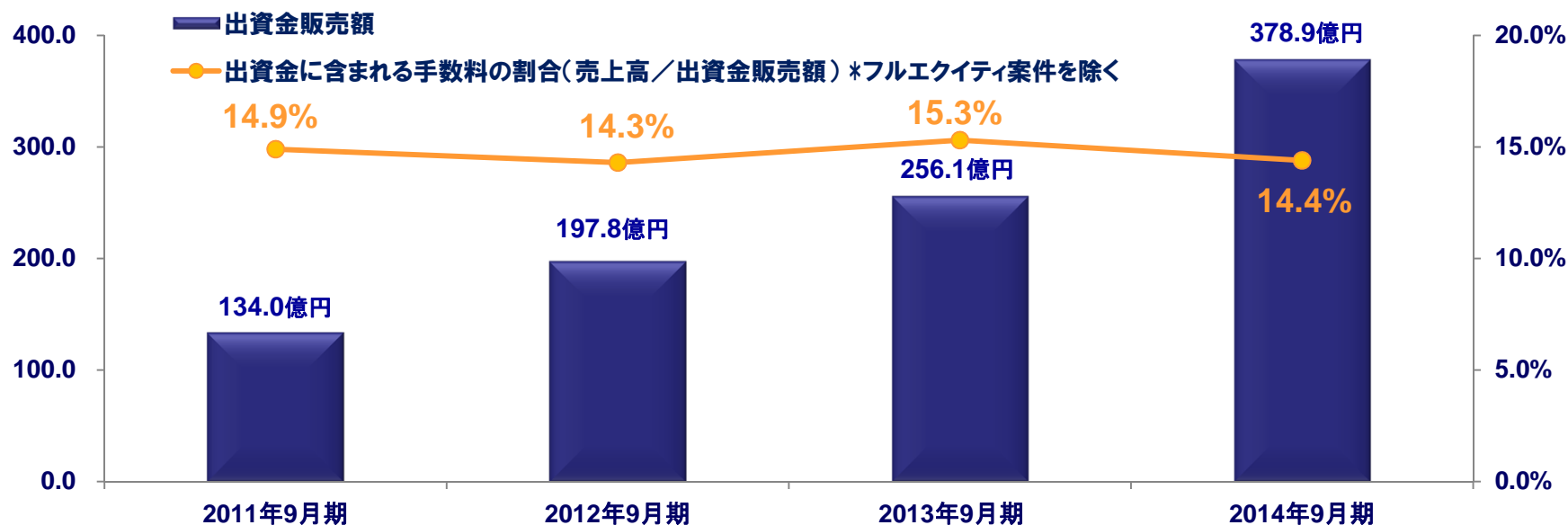
### リース物件別出資金販売額



### 購入社数



# ■ タックス・リース・アレンジメント事業 – 出資金に含まれる手数料



(億円)	2011年 9月期	2012年 9月期	2013年 9月期	2014年 9月期
タックスリースアレンジメント 事業の売上高	19.2	26.6	37.4	54.4
出資金販売額	134.0	197.8	256.1	378.9
出資金に含まれる手数料の割合 (売上高 / 出資金販売額) * フルエクイティ案件を除く	14.9%	14.3%	15.3%	14.4%

\*フルエクイティ案件とは、借入金を調達せず、すべて投資家からの出資金にて資金調達する案件である。なお、通常はオペレーティングリース事業を組成する際、借入金及び出資金にて資金調達を行う。

**出資金に含まれる手数料の推移**

旺盛な投資家需要に応えるため、積極的に案件を組成。  
出資金に含まれる手数料については、**概ね14%～15%台**に推移しており、他の金融商品に比べ、高い収益性を維持している。

# 2014年9月期 財務ハイライト



# 2014年9月期 損益計算書

(百万円)	2013年 9月期	2014年 9月期	増減	増減率
売上高	4,012	6,257	2,244	55.9%
売上原価	600	873	272	45.3%
売上総利益	3,411	5,384	1,972	57.8%
販売管理費	1,327	1,922	595	44.9%
営業利益	2,084	3,461	1,376	66.1%
営業外収益	87	341	254	289.4%
営業外費用	211	540	328	155.7%
経常利益	1,961	3,263	1,302	66.4%
特別損失	0	5	4	△616.8%
税引前純利益	1,960	3,258	1,297	66.2%
法人税等合計	774	1,269	494	63.9%
当期純利益	1,185	1,988	803	67.7%

**1 売上高 6,257百万円 (+2,244百万円)**  
単位：百万円

タックス・リース・アレンジメント事業	5,444 (前期比 +1,697)
不動産関連事業	157 (前期比 + 98)
保険仲立人事業	241 (前期比 + 68)
M&Aアドバイザー事業	11 (前期比 △ 8)
証券事業	316 (前期比 + 312)
投資顧問事業	82 (前期比 - )

**2 売上原価 873百万円 (+272百万円)**  
単位：百万円

顧客紹介者への紹介手数料	716 (前期比+ 241)
案件組成コスト等	156 (前期比+ 30)

**3 販売管理費 1,922百万円 (+595百万円)**  
業績拡大を企図した、積極的な人材採用・本社移転・拡充により人件費・地代家賃が増加。その他業容拡大により、各種費用も増加。  
\*連結従業員数 前期末81名 → 当期末100名 (+19名)  
単位：百万円

人件費	919 (前期比+ 207)
地代家賃	318 (前期比+ 205)

**4 営業外収益 341百万円 (+254百万円)**  
リース開始後に商品出資金を販売した場合、経過分の利息を投資家(顧客)から徴収し、受取利息として計上している。案件組成の拡大に伴い、商品出資金の受取利息、及び組成用不動産の不動産賃貸料等が増加。

**5 営業外費用 540百万円 (+328百万円)**  
コミットメントライン契約の拡大による支払手数料、および資金調達の拡大に伴う支払利息等により増加。

# 2014年9月期 貸借対照表

資産 (百万円)	2013年9月期 期末	2014年9月期 期末	増減
流動資産	19,185	42,278	23,093
現金及び預金	3,840	4,092	252
商品出資金	13,436	28,542	15,106
組成用不動産	1,208	3,403	2,194
その他 流動資産	700	6,240	5,540
固定資産	1,055	1,737	682
資産合計	20,240	44,016	23,775
負債 (百万円)	2013年9月期 期末	2014年9月期 期末	増減
流動負債	15,355	31,968	16,613
短期借入金等	12,306	21,580	9,274
前受金	1,838	4,404	2,566
その他 流動負債	1,210	5,983	4,772
固定負債	395	1,497	1,101
長期借入金・社債	330	1,301	971
その他 固定負債	65	196	130
負債合計	15,751	33,466	17,715
純資産 (百万円)	2013年9月期 期末	2014年9月期 期末	増減
資本金	851	3,072	2,220
資本剰余金	801	3,022	2,220
利益剰余金	2,833	4,441	1,607
自己株式	△0	△0	△0
為替換算調整勘定	2	14	11
純資産合計	4,489	10,549	6,060
負債純資産合計	20,240	44,016	23,775

**1 商品出資金 28,542百万円 (+15,106百万円)**  
好調な出資金の販売を踏まえて、航空機案件を中心に積極的な組成を行ったことから、商品出資金が大幅に増加。

商品出資金の  
取得資金は  
主にコミットメン  
トライン融資枠  
等の短期借入  
金で調達  
(一時的な立替  
取得)



**2 組成用不動産**  
第2号案件(プラチナコート広尾)、第3号案件(Qiz青山)を販売中。

**3 前受金 4,404百万円(+2,566百万円)**  
翌期以降の販売を見据えた積極的な組成による商品出資金の大幅増加に伴い、当該出資金の手数料である前受金も増加。前受金は、出資金販売代金の入金時に、売上に計上される。

**4 短期借入金等 21,580百万円(+9,274百万円)**  
商品出資金の立替資金は主にコミットメントライン融資枠等の短期借入金で調達しており、商品出資金の増加に応じて短期借入金は増加し、商品出資金の販売に応じて短期借入金は減少する。当期末は翌期以降の販売を見据えた積極的な組成による商品出資金・組成用不動産の取得原資として資金調達が増加した。

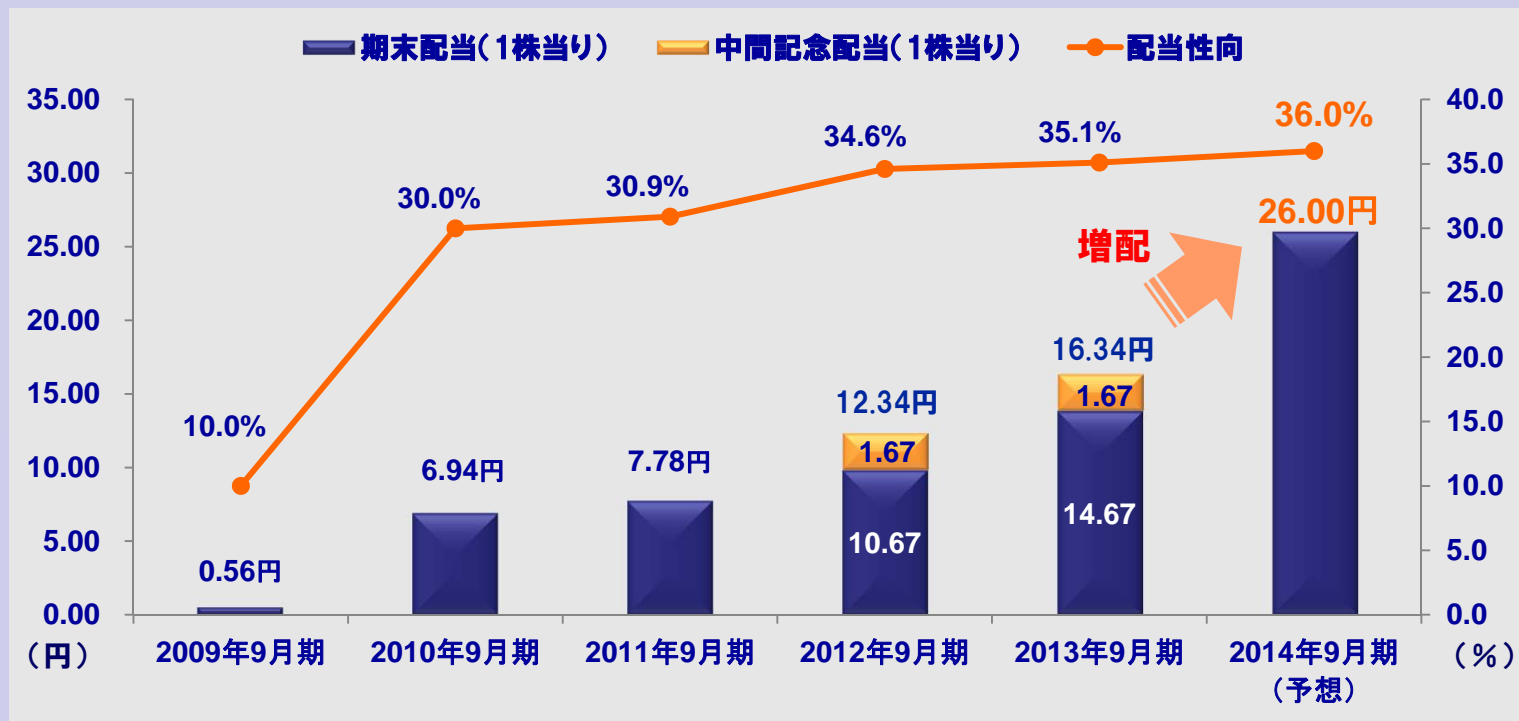
**5 純資産 10,549百万円 (+6,060百万円)**  
当期純利益1,988百万円の計上に加え、新株式発行の実施等により、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものである。

# 2014年9月期 配当予想

## ▶ 目標連結配当性向30%以上、期末配当（予想）は増配

経営基盤の強化と事業機会を確実に捉えるために、十分な内部留保を維持することに留意しつつ、株主の皆様へ適切な利益を還元することが配当政策上重要であると考えており、業績の状況や将来の事業展開などを総合的に勘案し、**目標連結配当性向を概ね30%以上**に設定。

2014年9月期の業績を踏まえ、**期末配当（予想）を1株当たり26円に増額**。連結配当性向は**36.0%**となる見込み。



(注1) 株式分割に伴う影響を加味し、遡及調整を行った数値を記載。

(注2) 2012年9月期の中間配当は東証2部上場及び当社設立10周年に関する記念配当であり、また、2013年9月期の中間配当は東証1部上場に関する記念配当である。

# 2015年9月期 業績予想 中期的な経営戦略

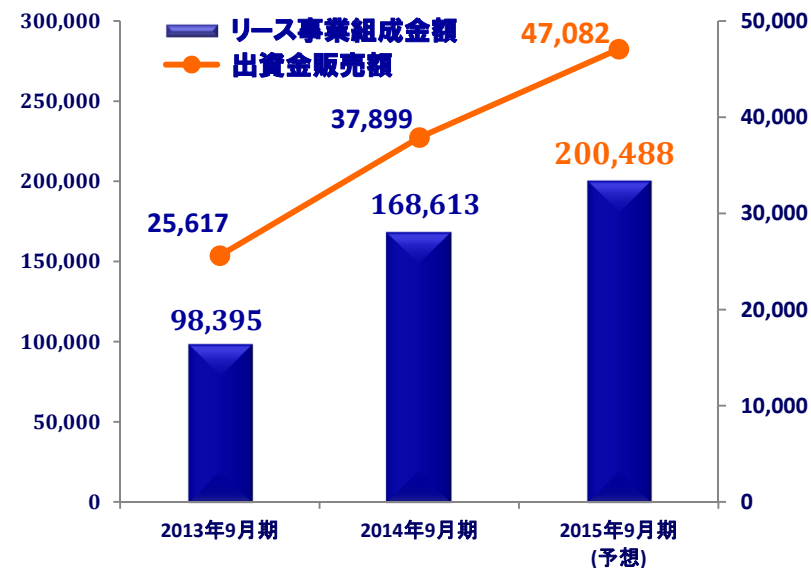
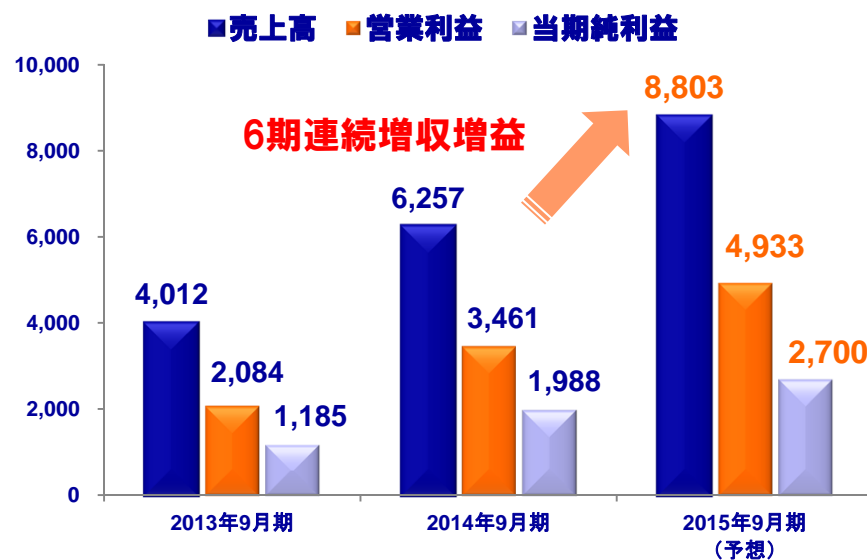




## ▶ 業容拡大を推進し、6期連続の増収増益を目指す

(百万円)	2013年9月期 実績	2014年9月期 実績 (A)	2015年9月期 予想 (B)	増減 (B-A)	増減率
売上高	4,012	6,257	8,803	2,545	40.7%
営業利益	2,084	3,461	4,933	1,472	42.5%
経常利益	1,961	3,263	4,583	1,319	40.4%
当期純利益	1,185	1,988	2,700	711	35.8%
リース事業組成金額	98,395	168,613	200,488	31,874	18.9%
出資金販売額	25,617	37,899	47,082	9,182	24.2%

(単位:百万円)



## ▶ 成長戦略の推進

- **タックス・リース・アレンジメント事業の継続的強化**
- **収益構造の多角化**  
高収益な中小企業及び富裕層をターゲットとしたワンストップ型ファイナンシャルサービス業へ
- **新規ビジネスの拡充**  
運用型商品の開発

## ▶ 経営基盤の強化

- **持続的成長のための専門家集団育成**  
少数精鋭主義を前提とし、スペシャリスト人材の育成
- **安定かつ機動的な資金の確保**

## ✓ タックスリースアレンジメント事業の強化

### 組成面

- ◆ 旺盛な投資家ニーズに対応した案件供給体制の構築
- ◆ 欧州合併会社の機能強化による組成能力の向上、新規借入人の開拓
- ◆ 組成の拡大に対応した資金調達力の確保

### 販売面

- ◆ 会計事務所とのパートナーシップ契約及び地銀を中心とした金融機関とのアライアンスの推進による販売ネットワークの拡充
- ◆ 中小企業の事業承継対策への対応

需要(投資家ニーズ)と供給(案件組成)のバランスを保ち、効率的なオペレーションを追求  
→ 出資金販売額 **500億円** の達成を目指す

## ✓ 収益構造の多角化(その他事業)

### 保険仲立人事業

- ◆ 取扱保険会社の拡大による保険商品の拡充
- ◆ 販売ネットワークを活用し、既存・潜在投資家に対して保険商品を提案

### M&Aアドバイザー事業

- ◆ 販売ネットワークを活用した M&A 案件の獲得とマッチングの促進
- ◆ 中小企業の後継者不在問題に対応

### 不動産関連事業

- ◆ 販売ネットワークへの不動産小口運用商品認知の向上
- ◆ 新たな投資家層の開拓(地主、医師等の個人富裕層)

### 証券事業

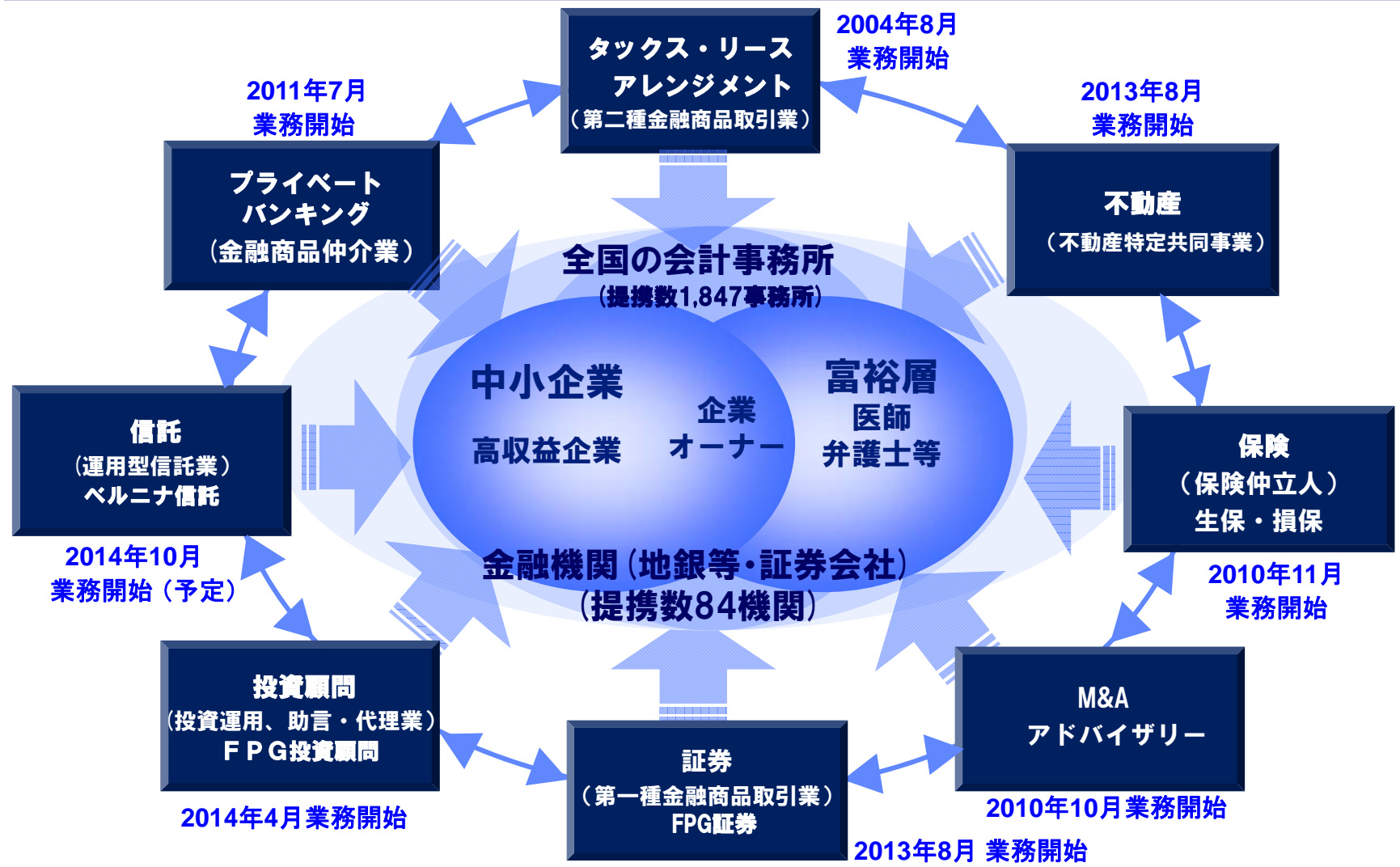
- ◆ 事業基盤の確立システム導入、業務整備
- ◆ シナジーの最大化 FPG 投資家への本格展開、FPG 販売ネットワークの活用

### 投資顧問事業

- ◆ 金融商品・サービスの範囲の拡大
- ◆ 高収益な中小企業及び富裕層等の資産運用に関するニーズの取り込み

# ■ 事業概略図 収益構造の多角化に向けた取組み

高収益なオーナー企業及び富裕層に対して、各種金融商品・サービスを提供するワンストップ型ファイナンシャルサービス業を目指す



## <ご参考> 主要な経営指標の推移

決算年月		2009年9月期	2010年9月期	2011年9月期	2012年9月期	2013年9月期	2014年9月期
売上高	(百万円)	856	1,621	1,992	2,802	4,012	6,257
経常利益	(百万円)	242	773	967	1,392	1,961	3,263
当期純利益	(百万円)	99	444	557	793	1,185	1,988
資本金	(百万円)	66	332	334	338	851	3,072
発行済株式総数	(株)	1,056	1,231,300	2,470,600	7,501,800	26,017,200	31,271,200
純資産額	(百万円)	586	1,553	1,958	2,551	4,489	10,549
総資産額	(百万円)	1,539	2,366	6,589	5,919	20,240	44,016
1株当たり純資産額	(円)	30.87	70.08	88.10	113.36	172.57	337.39
1株当たり配当額	(円)	0.56	6.94	7.78	12.34	16.34	26.0
1株当たり当期純利益	(円)	5.55	23.16	25.15	35.66	46.60	72.22
ROE	(%)	19.0	41.6	31.7	35.2	33.7	26.4
自己資本比率	(%)	38.1	65.6	29.7	43.1	22.2	24.0
配当性向	(%)	10.0	30.0	30.9	34.6	35.1	36.0%
営業活動によるCF	(百万円)	676	11	△1,679	1,842	△8,952	△13,024
投資活動によるCF	(百万円)	△110	△51	△71	△71	△426	△730
財務活動によるCF	(百万円)	△280	△207	3,493	△2,010	11,230	14,000
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	731	482	2,226	1,987	3,840	4,092
従業員数	(人)	20	27	33	55	81	100

(注)2013年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2013年9月期からは連結の数値(従業員数含む)を記載しております。  
また、一株当たり情報に関しては株式分割の影響を調整しております。

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社FPG IR担当

TEL (03) 5288-5691

URL <http://www.fpg.jp>